

第二回医学生・研修医のための腫瘍内科セミナープログラム

1. 日程 2006年8月26日(土) AM10:00-17:00
2. 主催：国立がんセンター、厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業「効果的かつ効率的ながん専門医の育成方法に関する研究」班、共催：財団法人 日本対がん協会

3. 場所：国際交流会館3階

4. スケジュール

- 総合司会 国立がんセンター中央病院 内科 勝俣範之
- 10:00-10:10 開会のあいさつ 国立がんセンター中央病院院長 土屋了介
- 10:10-10:40 「がん診療におけるチーム医療の中での腫瘍内科医の役割」
国立がんセンター中央病院 レジデント専門副委員長 飛内賢正
- 10:40-11:20 「日本の Medical Oncology の将来構想」
国立がんセンター東病院 副院長 西條長宏
- 11:20-11:50 「国立がんセンターにおける腫瘍内科医の育成」
国立がんセンター中央病院 レジデント専門委員 勝俣範之
- 11:50-13:00 昼休み(弁当)(管理棟 第一～第四会議室)
- 13:00-13:30 「がん薬物療法専門医制度」
国立がんセンター中央病院内科/日本臨床腫瘍学会理事 大江裕一郎
- 13:30-14:00 「一般病院におけるがん薬物療法専門医の役割」
京都医療センター 腫瘍内科 安井久晃
- 14:00-14:20 「国立がんセンターのレジデント制度～現役レジデントから」
国立がんセンター中央病院 内科レジデント高島淳生
- 14:20-14:40 「国立がんセンターのレジデント制度」
国立がんセンター中央病院 運営局政策医療企画課 得津馨
- 14:40-15:00 休憩・グループワーク会場へ移動
- 15:00-16:30 グループワーク(管理棟第一～第四会議室、国際交流会館2階第二会議室)
9班に分かれてグループワークを行います。基本的にはフリーディスカッションですが、下記のようなテーマを想定しています。
- がん診療における腫瘍内科医の役割、がん薬物療法専門医制度に期待するもの、腫瘍内科教育に期待するもの、国立がんセンターに期待するもの、腫瘍内科医の将来性、日本の方向性についてなど。
- 16:30-16:50 総合討論・質問 国立がんセンター中央病院 内科 勝俣範之
- 16:50-17:00 閉会のあいさつ 国立がんセンター中央病院 運営局政策医療企画課長 得津馨
- 17:00-18:00 国立がんセンター中央病院見学ツアー(希望者のみ、グループワークの班単位で)
- 18:00-20:00 懇親会(研究所セミナールーム)